



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
人口減少時代の再開発「沈む街」と「浮かぶ街」 著 NHK取材班



今号の
おすすめ
ライブラリーは
こちら!



皆さんは「再開発」と聞いて、どのような光景をイメージされますか?
日本の人口は2008年をピークに減少に転じ、高度経済成長期に建てられたビル等は更新時期を迎えています。さらに近年は、世界的な建築資材高騰や建設現場の人手不足の影響による計画変更やそれともなう工事の遅れなど、事業の採算性の判断が難しい状況にもあります。

本書では東京を中心に全国各地で行われる再開発事業の状況取材し、見えてきた実態や課題、これからの再開発事業の考え方の示唆がまとめられています。ユニークなまちづくりとして、世田谷区下北沢、岩手県紫波町、神戸市が取り上げられています。それぞれの地域から見えてきたキーワードは「個性」と「持続可能性」ではないだろうか。

時代の転換期を迎えている今、再開発に限らずこれからのまちづくりに役立つ考え方を知れるおすすめの一冊になりますので、ぜひ読んでみてください。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

群馬県官民連携まちづくりプロジェクトチーム



シンポジウム後の記念写真

プロジェクトチームは、県庁内の有志があつまったボトムアップ型の庁内内部局横断型チームです。

これまで公共空間で民間の経営力を活用した官民連携まちづくりの普及・啓発・研究に取り組んできました。

令和元年度から、正式にチームとして活動し、自らも実践者として公共空間活用に取り組みながら、有識者として手続きガイドの作成、官民連携まちづくりの伴走支援を行ってきました。

今回のシンポジウムで、これまで培った知識・ノウハウが県庁内・県内市町村まちづくりに少しでも役に立てば幸いです。

チームの意思が引き継がれて、これからも群馬県の官民連携まちづくりが進んでいくことを期待しています!

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行ってきました!

群馬県 都市計画課 企画推進係 高野 修平

2024年11月11日~22日の12日間、東京都小平市にある国土交通大学校で研修を受けてきました。受講した研修テーマは「都市行政[持続可能な都市経営に向けた官民連携まちづくり]」です。人口減少や高齢化が進む現代において、都市経営課題は多様化・複雑化しており、その課題に対して、どのような考えやアプローチをしていけば持続可能なまちづくりを進めていけるのかを学べる内容でした。

本研修は座学とゼミナール(課題演習)に加え、官民連携のまちづくりが実践されている現地見学もありました。講師陣は全国の第一線で活躍されている方々で、まさにオールスター。毎日、刺激的な学びの時間で、あっという間の2週間でした。

今回の演習課題地は埼玉県草加市でした。草加市のまちづくりと言えばリノベーションまちづくり事業が有名ですが、今回はその対象エリアではなく、市北東部の市街化調整区域「柿木・青柳エリア」において、地域主導で持続可能な都市経営の実現に向け、官民連携のまちづくりとして行うべき施策を市に提案するものでした。

2週間という期間があるからこそ、インプットだけでなく、アウトプットを経験できることがこの研修のいい点の一つでもあったと感じました。

また寮生活と言うこともあり、講義時間以外は他の受講生と外に出かけ飲食をともにしたり、談話室で夜まで話したり、そういった時間も、様々な場所や立場から参加しているからこそ有意義な時間でした。

この費用でこの質の研修を受けられる機会もあまりないと思うので、県内市町村の皆さんもぜひ都市計画協会の助成の活用を検討し、参加してみてください。



同じ班の仲間と!

まち'sクリの独り言



年度末を迎え、無事に本号を発刊できたことに、心から感謝ですクリ。執筆者の皆様、ご協力に深く感謝ですクリ。読者の皆様、いつもご愛読していただき、本当にありがとうございますクリ。

来年度も、皆様の期待に応えられるよう努めていくクリ。引き続き、「おっ!まちい~」をよろしく願いますクリ~。

